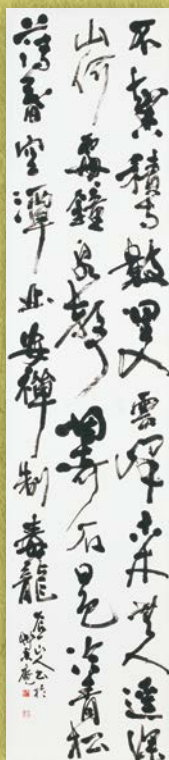
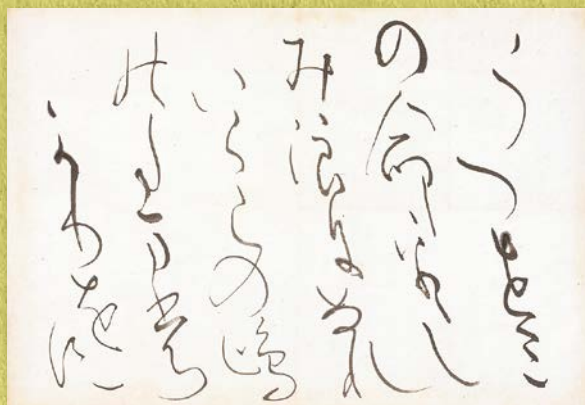


# 郷土ゆかりの 書家たち

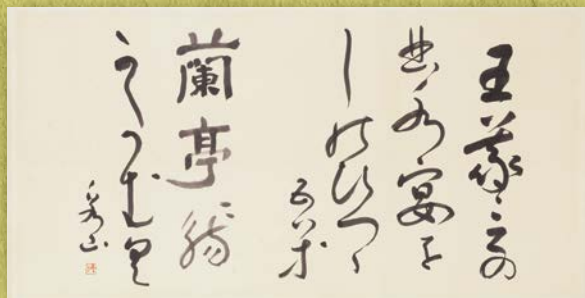
田原市渥美郷土資料館 ● 平成27年度 ● 秋の企画展



小笠原辰一筆「王維詩」  
渥美郷土資料館蔵



鈴木翠軒筆「万葉集 卷1-24 麻統王歌」 渥美郷土資料館蔵



高平泉山筆「和歌自詠」 渥美郷土資料館蔵

平成27年

10月24日(土) — 12月6日(日)

会場 || 渥美郷土資料館企画展示室ほか

開館時間 || 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

休館日 || 毎週月曜日  
※但し11月23日(日)・(祝)は開館し、  
11月24日(月)は休館します。

展示内容 || 田原市博物館、渥美郷土資料館  
が所蔵する書作品 約30点を展示

出品書家 || 鈴木翠軒、増山楽道、高平泉山、  
石川雲鶴、小笠原辰一ほか(予定)

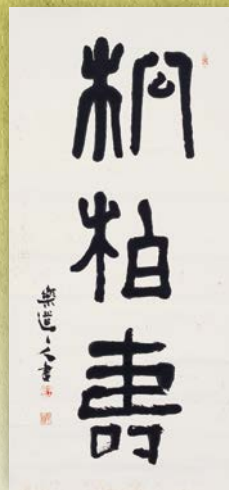
〈参考出品〉  
渡辺華山、糟谷磯丸、  
松林桂月ほか

観覧料 || 無料

入館  
無料



石川雲鶴筆「雲龍」  
田原市博物館蔵



増山楽道筆「松柏寿」  
田原市博物館蔵



鈴木翠軒筆「白妙」  
田原市博物館蔵

私たちの郷土である渥美半島は、愛知県の最南端にあって南は太平洋、西は伊良湖水道を経て伊勢湾、北は三河湾と三方を海に囲まれ、黒潮の影響を受け、冬も温暖な常春の地として知られています。そんな半島の大部分を占める田原市には、戦前の国定教科書を揮毫し、文化功労者となった日本書道界の重鎮鈴木翠軒をはじめ、多くの書家たちが活躍してきました。

今回の企画展では、田原市博物館や渥美郷土資料館がこれまでに収集した数多くの資料の中から、郷土にゆかりのある書家たちの作品を展示します。近年、田原市博物館では、ふるさと学習の一環として、郷土にゆかりのあるテーマ

で様々な展覧会を開催しています。平成24年には、本館の秋の企画展として「郷土ゆかりの画家たち」を開催し、本展はこれに続く第二弾となります。今後もこのような展覧会を企画することで、わたしたちのふるさと田原に対する認識を新たにさせていただこうと考えています。

なお、本展では以前に寄贈され、なかなか公開する機会に恵まれず、初公開となる作品もあります。また、郷土の偉人として顕彰されている渡辺華山と糟谷磯丸などの書作品もあわせて紹介します。

郷土ゆかりの書家たちの作品をご堪能いただければ幸いです。

田原市渥美郷土資料館

☎33局1127 <http://www.taharamuseum.gr.jp>

関連  
行事

展示解説 10月31日(土) 午前11時～  
学芸員による展示説明